

地域医療協働センター 平成 29 年度第 1 回運営会議

日 時：平成 29 年 11 月 9 日（木）14：00－15：00

場 所：医学部基礎研究棟 1 階 研修・打合せ室

出席者：医学部医学科 前田隆浩、有馬和彦、玉井慎美
歯学部 齋藤俊行、福田英輝、吉村篤利
薬学部 川上茂、大山要
医学部保健学科 大石和代、大西眞由美
総務課企画担当 西林佳夫
事務補佐員 野田美紀、今村真希

●活動計画について

センター長より資料に基づき下記の①～⑤について概要の説明があった。

- ①地域医療協働センターと地域総合拠点の創設
- ②広域的調剤情報共有システムの開発とデータの二次利用環境の整備
- ③歯科医療の機能分化と医療連携
- ④多目的地域コホート研究の推進
- ⑤地域包括医療・ケア教育と地域介入・啓発事業の推進

●予算執行計画について

センター長より資料に基づき、現時点での執行状況と今後の執行計画について説明があった。尚、学内予算 600 万円は繰越可能であり、今年度の運営費交付金 600 万円は年度内の執行が求められる。

●看板作成について

センター長より三種類の看板の見本と見積についての説明があり、下記の通り意見が出された。また、どこに設置するのかの質問に対しては、センター長から医学部基礎研究棟 5 階の地域医療学教室の廊下に面した壁面に設置する予定との説明があった。

- 看板はあった方がよく、日本語だけでなく英語併記が望ましい。
- 予防医学研究所と同様の看板で統一するか、設置する場所に調和する看板を選択するほうが望ましい。

上記の意見から、英語併記の亚克力か箱型で制作予定となった。

●HP 作成について

発信は必要である。

外国人もアクセスすると思われるので、英語版も作成した方が望ましい。

今後、誰がセンター長になってもいいように独立したサイトの方が望ましい。

こうした意見から、独立したサイト（英語版含む）の案を制作し、後日、兼務教員へ提案することとなった。

●予算残り 90 万円のアイディア

今年度予算の残金約 90 万円の使途について議論され、下記の通り意見が出された。

- HP の英文校正
- キックオフを兼ねてのセミナーや研究会の開催
- 研究会の開催と外部招聘講師への謝金
- 学会などの旅費

●今後の方向性

データベースを 4 年使っており、切り替える際に費用がかかるため、繰越可能の予算はストックする方向である。

歯学部に紐づけられた予算（100 万円）については歯学部長へ確認する。

業績を年度末にあげていただき、報告書作成に活用するとともに HP に掲載する。

運営会議とは別に定期的な研究会を開催し、組織横断的な理解と共同研究の促進につなげる。

担当事務より予算執行を確実にしてもらいたい旨の発言があった。

●その他

現在使用しているディープフリーザー8台は将来的に足りるのかとの質問に対して、ストックを小さくしているので、全体の 1/4 程度しか使っていないため当分の間は大丈夫である旨の発言があった。